

線分 AB の長さ a が与えらる

① AB を含む 直角 三角形を
探し、三平方の定理を使う。

(AB 以外の二辺の長さが
わかっている必要がある)

② AB を含む三角形で
余弦定理を使う。

(AB 以外の二辺の長さ
と、 AB の向いの角の \cos の値が
わかっている必要がある)

③ AB を含む三角形と
合同 ~~な~~ 相似な三角形を探す。

$$a^m = M \iff m = \log_a M$$

$\log_a M$ について,

a を底といい, $a > 0$ か $a \neq 0$ (底の条件)

M を真数といい, $M > 0$ (真数条件)

$$\log_a x + \log_a y = \log_a xy$$

$$\log_a x - \log_a y = \log_a \frac{x}{y}$$

$$\log_a x^n = n \log_a |x| \quad (x > 0 \text{ なら } n \log_a x \text{ としてよい})$$

底の条件と真数条件を満たすかを要する。

$$\log_a x = \frac{\log_b x}{\log_b a} \quad (x < 1 \text{ に } \log_a b = \frac{1}{\log_b a})$$

$$* \log_a x = y \text{ とする}$$

$$a^y = x \text{ とする}$$

$$\log_b a^y = \log_b x$$

$$y \log_b a = \log_b x$$

$$y = \frac{\log_b x}{\log_b a}$$

対偶法 (P が真であるとき、 Q も真 \swarrow)
(「 $P \Rightarrow Q$ 」が真であることを証明する)

- $\bar{Q} \Rightarrow \bar{P}$ が真であることを証明
- よって $P \Rightarrow Q$ も真

背理法 (「 P 」が真であることを証明する)

- $\bar{P} \Rightarrow Q$ より $\bar{Q} \Rightarrow P$
- \bar{Q} が真であることを証明
- よえに P も真

やっていることは似ているが、
証明する「対象」が違うので
注意が必要。

対偶法のオマケ (ルールを無視すると
何でもアリになるという話)

命題 P : $1+1=1$

命題 Q : $1+1=3$

について, $P \Rightarrow Q$ が成り立つかどうかを考える。

$P \Rightarrow Q$ の対偶 $\bar{Q} \Rightarrow \bar{P}$ について,

命題 \bar{P} は常に真なので, これは成り立つ。

ゆえに, $1+1=1$ ならば $1+1=3$ であるといえる。

\bar{P} が常に真になるような命題 P を用意できれば,
命題 Q は何でもよいから,

$1+1=1$ ならば, カエサルは日本人である,
など, 何でも言える。

また, $1+1=1$ ならば $1+1=2$ といふのも,

対偶である $1+1 \neq 2$ ならば $1+1 \neq 1$ が
成り立つため, 成り立つといえる。

背理法の手順とポイント

- ①, 「 \bar{P} ならば Q である」という命題を用意 (定理を使う)
- ②, ①より、 Q ならば P である (対偶)
- ③, Q が偽であることを証明する (証明の本体)
- ④, ②と③より、 P は真である

※ 普通、②は書かずに省略する。

例) $\sqrt{2}$ は無理数であることを証明せよ

$\sqrt{2}$ が無理数でない、すなわち $\sqrt{2}$ が有理数であるならば、
 $\sqrt{2} = \frac{b}{a}$ となる互いに素な整数 a, b が存在する。...①

※ 「 $\sqrt{2} = \frac{b}{a}$ となる既約分数が存在する」と書いても同じ

[①の命題の対偶より、 $\sqrt{2} = \frac{b}{a}$ となる互いに素な整数が存在しなければ、
 $\sqrt{2}$ は無理数である。...②]

$\sqrt{2} = \frac{b}{a}$ について、両辺を平方 (2乗) すると

$2 = \frac{b^2}{a^2}$ となり、さらに両辺に a^2 をかけると

$2a^2 = b^2$ となる。

ここで、条件 (a, b が整数) より、 $2a^2$ は2の倍数で、 b^2 も2の倍数となる。

b^2 が2の倍数であるためには、 b が2の倍数でなくてはならず、

このため b^2 は4の倍数になる。

ところで、 $2a^2 = b^2$ であるため、 b^2 が4の倍数であるためには

a が2の倍数でなくてはならず、 b と同様 a も2の倍数となる。

ここで、ともに2の倍数であり、かつ互いに素である整数 a, b は、
明らかに存在しない...③

②, ③より、 $\sqrt{2}$ は無理数である。

※ [から]までの間は書かなくてもよい。
(①と③だけでも証明になる)